

# 令和元年度 江別ブロックの研究

## 研究主題

自分のからだに関心を持ち、自ら考え行動できる子どもの育成をめざして  
～保健だより・保健指導を通して～

## 主題設定の理由

子どもや家庭が抱える問題は年々多様化している現在、私たちが発信しているおたよりや実践している指導内容が、今の状況にあったものなのか今一度見直す必要があると考えた。

1年次目は、

子どもたちに伝えたいこととして「香り（化学物質）」「色覚（健康診断）」「ハチ・虫刺され（アレルギー）」の3点を選び、3グループに分かれて研究を進めた。

2年次目である今年度は、実際に作成したものを教職員・保護者・子どもに提示し意識や行動の変容について検証する。

子どもたちの現状を認識した上で、そこに即した内容の指導を行うことで、自分のからだに関心を持ち、自ら考え行動に移せる子どもを育てることにつながると考え、この研究主題を設定した。

## 研究の仮説

1. 子どもの現状、その背景を明らかにすることにより、健康課題がより明確になる。
2. 子どもの現状を認識した上で、必要と考える内容を実践することにより子どもたちの心に届く指導となる。

## 研究内容

- ・子どもの実態、その背景や問題点について意見交流。（現状認識）
- ・現状認識の上で必要と考えられる指導内容・方法を考え実践し検証する。

## 研究の方法

1. 全体交流とグループ交流（3グループ）を行う。
2. 理論・実技研修を行う。